

「念仏者九条の会・安芸門徒九条の会」全国集会 + 交流会 in 広島

テーマ 「フクシマから私への問い フクシマから国への問い」
- フクシマ・ヒロシマ・祝島を視点に -

3月11日に起こった東日本大震災。とりわけ、福島第一原発の重大事故は現在も終息の目途がたっていない。この福島の事故は、原発を推進してきた日本政府や東京電力のみならず、それを許してきた私たち、原発事故にいたる私たちの社会と生活のあり方を問うています。

そして事故後の放射能汚染のデータ隠しや恣意的な基準値の変更がなされ、その中でこれから継続的に広島県民の放射線健康調査がおこなわれることになっています。それは66年前に広島に原爆が投下された後、米軍によりABCC(現広島放射能影響研究所)が作られ、集められた原爆被害者のデータが被爆治療ではなく、米ソ核戦争に備えるために使われてきたことを想記させるものです。

世界初の原爆被害を受けた広島、そして4基の原発事故が起きた福島、原発に29年間反対し続けてきた祝島を結んで、今日までの「私のありよう」と「国のありよう」、そしてどうあるべきかを問うていきたいと思ひます。

1. とき 2012年1月24日(火)～25日(水)

2. ところ 広島別院 広島市中区寺町1-19

3. 参加費 3,000円 交流会費 4,000円

4. 日程内容 下記

5. 宿 泊 ホテルは基本的に、各自でおとり下さい。

(ご自分で予約の難しい方は、念仏者九条の会事務局へ12月31日まで)

6. 申し込み先

(念仏者九条の会)

事務局

〒728-0003 広島県三次市東河内町237 西善寺内

☎/FAX0824-63-8042

mail:odake@orange.ocn.ne.jp

(安芸門徒九条の会)

〒730-0801 広島市中区寺町1番19号ヒロシマ別院内

☎082-231-9052 FAX082-292-1186

1日		2日	
13:30	受付	9:00	報告1 広島から
14:00	開会式		広島平和研究所 田中利幸さん
30	基調講演 平和国際ミュージアム名誉館長 安齋育郎さん		「原子力平和利用の真相」
15:30	報告 祝島から 氏本長一さん	10:00	報告2 福島から
16:10	休憩		福島放射能ネットワーク佐藤幸子さん
15	パネルディスカッション ・安齋育郎さん ・氏本長一さん ・佐藤幸子さん	11:00	パネルディスカッション ・田中利幸さん ・佐藤幸子さん
17:30	移動	12:00	閉会式
18:00	交流会		

全国集会 申し込み書

お名前・住所・☎	全国集会		交流会 4000円	ホテル 申込
(所属)	1日 ・出席 ・欠席	2日 ・出席 ・欠席	・出席 ・欠席	

講師紹介

安齋育郎さん



安齋科学・平和事務局長

立命館大学名誉教授 立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長

専門分野 放射線防護学・平和学

東京大学原子力工学科第一期生 同期生には原子力安全委員などの歴任者が多い。東京大学教官として勤めながら、原子力・核政策を激しく批判してきたことで知られる。

著書 『福島原発事故 - どうする日本の原発事故』『核戦争と地球 - 平和を
まもるために』『茶の間で語り合う平和』 『人はなぜ騙されるのか』

氏本長一さん

氏本農園代表 「祝島未来航海プロジェクト」代表



1950年山口県・祝島生まれ。2007年に帰島し、

「氏本農園」にて放牧養豚や無農薬での果樹や野菜づくりに取り組んでいる。

記事「小さな離島であるものさがし」『生活と自治』（2011年 生活クラブ生協連合会）

田中利幸さん

広島市立大学広島平和研究所教授



著書 『知られざる戦争犯罪』（大月書店）. 『空の戦争史』（講談社）

『原発とヒロシマ - 「原子力平和利用」の真相』（岩波ブックレット）

佐藤幸子さん



「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」世話人

「わたしは30年間百姓をしてきた主婦です。5人の子供を育ててきました。わたし達は中学と高校しかでていません。数字のことはわかりません。教育を受けていない主婦がわかるように説明してください。子どもたちに生きる大切さを教えてきたつもりです。それが一瞬にして崩れてしまいました。

子どもを守りたいという気持ちは、どこにいたって、日本中も世界中も一緒です。私たちは子どもたちに普通の生活を戻してあげたい。その願いを遂げさせてください。」
(4月21日文科省との20m SV交渉での佐藤幸子さん)